

75 大男は肩^{かた}の上の白い鳥^{とり}を静^{しず}かに下ろしました。すると、
 76 白い鳥^{とり}は、羽^{はね}を大きく広げて大男の前に立ちました。
 77 大男は言いました。
 78 「かわいい鳥^{とり}さん、さようなら。きれいな王女^{おうじょ}様になるの
 79 だよ。さようなら」
 80 そして、高い塔^{とう}の上から飛^とび降りて死^しんでしまいまし
 81 た。
 82 白い鳥^{とり}は泣^なきました。初^{はじ}めて泣^なきました。涙^{なみだ}がたくさん
 83 ながれま^{なが}した。そのとき、白い鳥^{とり}は美^{うつく}しい王女^{おうじょ}様^{さま}に戻^{もど}った
 84 のです。
 85 王女^{おうじょ}様は、大^{おお}声^{こえ}で泣^なきながら高^{とう}い塔^{かい}の階^{だん}段^{だん}を急^いいで下^{くだ}り
 86 て、王^{おう}様^{さま}の部^{はし}屋^やへ走^{はし}っていきま^いした。そして、今^{いま}までのこ
 87 とを王^{おう}様^{さま}に話^{はな}しまし^た。
 88 王^{おう}様^{さま}はそれ^{それ}を聞^きいて言^いいま^した。「そうか。私^{わたし}は大男^{おお}に
 89 悪^{わる}いことをした。大男^{おお}は王女^{おうじょ}を返^{かえ}しに來^きてくれたのだ」
 90 町^{まち}の人^{ひと}達^{たち}も、それ^{それ}を知^しると泣^なきました。王女^{おうじょ}様^{さま}は王^{おう}様^{さま}に
 91 言^いいま^した。「私^{わたし}は、いつま^{いつ}でも鳥^{とり}のま^ままでい^いて、大男^{おお}
 92 と一^{いっ}緒^{しょ}にいた^いったわ」
 93 暗^{くら}い空^{そら}に星^{ほし}が1つだけ見^みえる夜^よ、町^{まち}の人^{ひと}達^{たち}はこ^こう言^いいま
 94 す。
 95 「あれは、大男^{おお}の明^あかりだよ」と。

Vragen

1. Waarom moest de grote man een toren bouwen?
2. Waarom duurt de terugweg van het dorp in het zuiden langer dan de heenweg?
3. Waarom sprong de grote man van de toren?
4. Waarom huilde het vogeltje niet eerder?
5. Waarom denken de dorpelingen aan de grote man wanneer er één ster aan de hemel te zien is?